

近畿GIST研究会  
GIST登録データ利用申請書

平成 25 年 4 月 15 日

近畿GIST研究会  
代表世話人 辻仲 利政 殿

申請者 住 所 大阪府貝塚市堀3丁目10-20  
市立貝塚病院 外科

氏 名 安井昌義 印

連絡先 TEL 072-422-5865  
e-mail m.yasui@hosp.kaizuka.osaka.jp

下記により、GISTデータの利用を申請します。なお、交付をうけた資料は目的以外に利用しないことを誓約します。

記

1. 集計・解析の内容(別紙等に詳細に記述してください)  
別紙参照

2. 利用目的(学術的な発表の場合、発表予定の学会誌もしくは学会名等を記述してください。なお、出版に関しては謝辞に近畿 GIST 研究会のデータを利用した旨を記述して下さるようお願いいたします。)

若年性 GIST 症例の臨床病理学的検討から、若年性 GIST 症例の病態、予後因子、診療の実態、予後等を明らかにすること。

発表予定学会名:第 51 回 日本癌治療学会学術集会 および ASCO-GI2014

発表予定学会誌:

(別紙)

#### 集計・解析の内容(詳細)

GIST 症例は比較的希な疾患であり、好発年齢は 50～60 歳代とされる。そのため、若年性 GIST を経験することは極めて希であり、治療法や予後を含めた病態については明らかにされていない。

近畿 GIST 研究会における GIST 登録事業 PartI に登録された情報の内、若年性 GIST 症例の情報(多施設登録分)を用い、後方視的に臨床病理学的な情報を集計し、疫学的な解析を行う。

主病巣の部位、肉眼型、組織型、c-kit/CD34 他の免疫組織染色結果や exon 解析他の遺伝子変異解析などの臨床病理情報に加え、薬物療法・外科的内視鏡的切除ほかの治療内容、再発・生死情報などの予後情報などから、若年性 GIST 症例の病態を考察する。

各臨床病理学的因子と再発・予後の関係を解析し、若年性 GIST 症例における再発危険因子、予後因子を求める。また、若年性 GIST 症例におけるリスク分類を考案し、最適な診断・治療法について考案する。

なお、個人が特定できる情報については含まない。